

平成24年度 新居浜市母子保健連絡協議会 議事録

日 時 平成24年7月4日(水) 13:30~14:30

場 所 新居浜市保健センター

出席者 委員 12人(名簿参照)

事務局 岡所長・河野・木戸・佐々木・黒川・石川

発言者	内 容
事務局 (木戸)	<p>ただいまから、平成24年度新居浜市母子保健連絡協議会を開催いたします。本日は、お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>本会議は、「新居浜市審議会等の公開に関する要綱」に基づき傍聴席を設けておりますが、本日の傍聴者はございません。</p> <p>医師会から出席いただくことになっております新谷委員は業務のため少し遅れますとのご連絡がありました。社会福祉協議会はげみ園の関谷委員につきましては本日欠席しますとの連絡をいただいております。</p> <p>会議に先立ちまして、福祉部長がご挨拶を申し上げます。</p>
部長	<p>(あいさつ)</p> <p>みなさんこんにちは。梅雨の末期ということですので、突然の激しい雨もこの時期ならではと思われま。こうした不安定な天候、またご多忙にも関わりませ。ず、本日は平成24年度新居浜市母子保健連絡協議会にご出席くださいましたこと、また日頃は保健福祉の事業へのご協力をいただきまして心から感謝を申し上げます。特に1歳6か月児、3歳児健康診査等の実施につきましては、深刻な医師不足の中、格別のご協力を賜りまして心から感謝を申し上げます。平成23年の人口動態統計によりますと、第1子を産んだ時の母親の平均年齢は、初めて30歳を超えたということですのでございます。さらに合計特殊出生率は1.39、そして、夫婦が生涯に持つ子どもの平均人数も1.94と過去最低を記録したそうでございます。ことさら近年の少子化、核家族化、女性の社会進出の増加など親子を取り巻く環境の変化は育児不安や子育ての不安そして児童虐待などの問題の一因にもなっております。そのため、地域の実情に合わせた母子保健施策を推進すること、また、連携のとれた母子保健支援ネットワークを構築することがますます重要になってきております。委員の皆様には日頃からそれぞれのお立場で妊婦あるいは子どもたちのために非常に熱心に取り組んでいただいておりますが、各機関の連携が最も重要であります。今後ともより一層のご協力をお願い申し上げます。本日は昨年度の事業報告、今年度の事業計画をお諮りすることとしておりますが、全ての子供たちが健やかに生まれ育つ社会の実現にむけて、母子保健関係施策や基盤体制作りなど忌憚のないご意見をいただきまして本市の保健福祉行政がさらに充実したものとなりますようお願い申し上げます。本日はよろしくお願ひ致します。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、この4月人事異動により、平成24年度の新しい委員さんがいらっしゃいますので、自己紹介をお願いいたします。</p>

発言者	内 容
事務局	<p>(各委員自己紹介)</p> <p>次に、事務局職員の紹介をさせていただきます。</p> <p>(各事務局職員自己紹介)</p> <p>それでは、お手元の会次第にそって進めさせていただきたいと思います。まず加藤会長よりご挨拶をお願い致します。</p>
加藤会長	<p>(会長あいさつ)</p> <p>日頃は新居浜市の母子保健医療の推進にご尽力いただきましてありがとうございます。新居浜市は保健センターを中心に市としても非常に先駆的に母子保健事業に取り組んでいただいておりますが、今年度の新規事業等もすでに実施されているようです。先程、福祉部長からお話がありましたけれども母子保健をめぐる環境も非常に厳しいものがございしますが、この連絡協議会でぜひ連携を目指して新居浜市の母子保健事業がますます活発になるよう支援していただければと思います。審議時間が限られておりますので活発な意見と円滑な審議をよろしくお願い致します。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、新居浜市母子保健連絡協議会設置要綱に基づき、これからの議事進行を加藤会長にお願いいたします。</p>
議長	<p>それでは、議題に入りたいと思います。</p> <p>議題(1)平成23年度母子保健事業実施報告につきまして、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(平成23年度母子保健事業実績の説明)</p>
議長	<p>説明ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、何かご質問ありませんか。</p>
議長	<p>ございませんか。ないようですので、続きまして、議題(2)平成24年度母子保健計画について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(平成24年度母子保健事業新規事業及び計画の説明)</p>
議長	<p>ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、ご質問がありましたらお願いします。</p>
議長	<p>母子健康手帳の今回の改訂についてですが、予防接種の所はどのように変更されたのでしょうか。いろいろなバージョンの母子手帳があり現場では大変苦労しております。どのように変更があったのか詳しくお願いします。</p>
事務局	<p>定期接種の裏面に、肺炎球菌、ヒブワクチン、ロタウィルス、子宮頸がんワクチンなど定期外の予防接種について、今までは欄だけあったのですが、予防接種名を明記して回数分記録できるような形になっております。</p>

発言者	内 容
議長	今年度も変更がありますので、現場でわかりやすいように工夫はいただいていると思いますが、日本脳炎のようにしばらく実施がなく、また接種に来られると古い記入欄の手帳もあり使いにくいものもあることから、従来作ったものに対してフォローアップしていただくと、現場の混乱も多少は軽減されると思います。よろしくお願ひします。
議長	委員さんからはご質問はございませんか。
議長	では、事業計画の最後にご説明いただいた出前講座は、具体的にはどのような内容ですか。
事務局	新居浜市での出前講座は、各課からそれぞれの課でお話できる内容をあらかじめ市政だよりに掲載させていただき、市民の方がご覧になられて、例えば、ゴミの話、成人の健康づくりの話をお聞きしたいなどの希望を市民活動推進課に申し込んでいただき利用できるという講座があります。その一環で、母子関係も出しておりますが、申し込みがあった場合には、お話しさせていただくようなことをしております。内容としては、子どもの予防接種、子どもの健康づくりに関する内容が主です。
議長	申し込み先の団体にはどんなところがありますか。
事務局	児童センター、子育てサロンからのお申し込みが多くなっています。
議長	新規事業についてもご質問がございましたら、併せてご質問はございませんか。
新谷委員	中学生などが赤ちゃんやお母さんと触れ合える「乳児ふれあい体験教室」はよいと思います。母たちはどんな人たちですか。
事務局	このふれあい体験学習は、保健センターで5か月乳児相談の場面においていただき、相談に来られている子どもたちとお母さんたちと触れ合っていただきます。
新谷委員	母親の中には嫌な人もいるし積極的に受けてくれる人もいますよね。保健センターで母親に声をかけて了解を得るのですね。
事務局	そうです。
議長	申し込みは学校側によるものですね
事務局	そうです。
新谷委員	少子化対策などにとてもよいと思います。女の子に興味を持ってもらえますね。
議長	他にはございませんか。
	ないようでしたら、次の議題に移ります。
	議題(3)各機関における育児支援の取り組みについて、ご準備いただいているところからお願いします。
尾崎委員	昨年度、県が「えひめの子育て応援ブック」という新居浜市・西条市版を H24 年 3 月に発行されましたが、今年度はほぼ同様の内容になりますが、新居浜市版ということで NOP 法人が「にいほま子育てガイドブック」を 3,900 部作成し、平成 25 年 3 月頃配布します。 子どもの遊び場がないとか、子育ての負担感などを軽減するために、居場所づくりということで、広場型の子育て広場「ラトル」も開設しました。

発言者	内 容
議長	そのガイドブックはNPO 法人の出資ですか。
尾崎委員	平成 23 年度は県の時補助金、平成 24 年度は市の補助金です。今年度は公募補助金となっています。
議長	子育て広場「ラトル」はどこにあり、どのような設備がありますか。
尾崎委員	フジグラン新居浜の敷地内にあり NPO 法人が開設しています。概ね 3 歳児までの子供が対象で、育児相談にのったりしています。週に 3 日開設しています。
議長	ありがとうございました。
	他にご紹介できる機関はありませんか
渡邊委員	<p>発達支援課では、地域における発達支援の中核的機関として設立した「こども発達支援センター」を中心に、総合相談、心理相談員による幼稚園、保育所、小、中学校への巡回相談や発達検査の実施、個別の支援計画の作成運用など関連施設や機関とのネットワークの強化を図りながら発達支援の諸事業を進めています。</p> <p>早期療育の分野につきましては、保健センターや幼稚園、保育園などから紹介を受けた、心身の発達に課題のある未就学児に対して、日常生活における基本的動作及び集団生活への適応訓練等の相談、指導をおこなう早期療育通園事業を実施しています。</p> <p>通園事業は、外来相談窓口として療育に関する相談等をおこなっている「どんぐり教室」、主に構音訓練や個別療育をおこなっている「ことばの教室」、主に小集団療育をおこなっている「育ちの教室」がありまして、保健師 2 名、保育士 1 名、指導員 6 名のスタッフで運営をおこなっています。</p> <p>療育の流れとしましては、他機関より紹介をうけたケースでは、まずはどんぐり教室で初回相談、面接等を実施し、こどもの特性の理解や保護者との情報共有、支援の内容等についての相談を実施し、こどもの特性や保護者の同意や理解の状況等を勘案しながら、ことばの教室、もしくは育ちの教室と適切な通級教室へとつないでいき、継続的な療育支援を実施しています。センターの通級教室では早期の療育支援を実施していますが、さらに専門的な療育が必要と思われる子どもにつきましては、児童デイサービス「はげみ園」へとつないでいます。</p> <p>今後におきましては、身近な地域の中で、早期から将来を見据えた一貫した支援ということを目標に掲げておりますので、医療、保健機関、学校などの教育部門とさらに連携を強化しながら事業を進めていきたいと考えていますので、今後とも関係機関の皆さまのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。</p>
議長	市内では、吃音や構音障害の対応はどうなっていますか。
渡邊委員	保健センターのここにクラブや保育園から支援課に相談が引き継がれる場合や保護者から個別に相談がある場合もございます。
議長	医療機関との連携はどうなっていますか。
渡邊委員	支援会議で連携しています。
議長	県立病院や住友病院との連携が多いですか

発言者	内 容
渡邊委員	構音については県の療育機関、機能訓練はいろいろな医師にご協力をいただいています。
議長	就学した時から相談があるときは直接支援課に相談でよろしいですか
渡邊委員	就園児は相談など個々での対応になります。
議長	ありがとうございました。ご質問はございませんか。 他にご紹介できる機関はありませんか
梶原委員	子育て支援センターは、子育て相談が主です。 7グループ100組の親子に支援を行っています。親子サークルでは季節遊びやリズムミックなど、母親サークルでは、親子サークルを卒業した人たちが育児について話し合うなどです。
議長	ありがとうございました。ご質問はございませんか。 他にご紹介できる機関はありませんか。
合田委員	保育協議会・幼稚園です。 保健センターなど努力していると思います。最近では母親に相談してみますかと声をかけると、積極的に相談に行こうとする姿勢に変化し、連携もうまくいくようになっていきます。相談に行ってもスムーズに行くとも限らず、様々ですがよくフォローしていただいていると思います。 先日も育児講座に来ていただきましたが、私どもはどうしても子供の食育に目がいきますが、母親の栄養など詳しくお話していただきました。保護者の精神・肉体の健康も大事であり、そのことが子の安定につながるとお話がありました。あらゆる機関と連携していくこと、チームとしてやっていけるとよいと思います。
議長	ありがとうございました。ご質問はございませんか。 保健所はどうですか。
加地委員	保健所では、小児慢性特定疾患、養育医療、育成医療を行っています。それぞれ保健センターと協力して支援しています。 平成21～23年度、発達障害支援プロジェクトを行いました。新居浜は県内でも先駆的な取り組みをしており、他市町へ広がりがあります。平成23年度は西条市、平成24年度は今治市、平成25年度は上島町にも発達支援の課が設置されることになっておりまして、県内でもよい事例として、議会質問にも取り上げられ県内にも波及してはどうかと意見も出たほどです。 保健福祉医療と連携が重要だと思います。 昨年度でこのプロジェクトは終了しましたが、希望もあったことから今年度は代表者会については実施予定となっています。
議長	歯科医師会からはいかがですか。
中西委員	特にありません。
議長	他に発言されていない委員の方はいかがですか。 佐伯委員さんはいかがですか。

発言者	内 容
佐伯委員	<p>民生児童委員は23年度から子育てネットワーク事業でご協力しています。最近では赤ちゃんがどこにいるのかも分からないことが多かったのですが、この事業で赤ちゃんやお母さんがいる家庭が分かり、校区で赤ちゃん訪問をするようになりました。赤ちゃんやお母さんに声かけをするなど地域の私たちで見守ろうと話しています。</p> <p>また、すくすくは一ぶなどの子育てサロンも民生児童委員は各地域で実施し、子育てのお手伝いをしています。</p>
議長	<p>地域との従来に関わりが求められているので今後とも努力していただきたい。</p>
高橋委員	<p>最近、保育園で不安感を持つ保護者が多いと思います。園だけでは抱えきれない大変なケース多いが、発達支援課・児童福祉課・病院なども窓口となり、対応していただいていることで、園の負担感も軽減していますし、保護者も安心して子育てできるようになってきていると感じます。</p>
議長	<p>他にはございませんか。</p>
佐伯委員	<p>質問です。朝、子どもの登園時間帯に道路に立っているが、中には声をかけても反応がない子供がいるのです。時折パニックのようにも感じます。声をかけ続けてもよいのか、どうしたものでしょうか。</p>
渡邊委員	<p>発達課題など特性のある子供がいるのは確かです。事前に見通しを立てるなどの対応が必要で、コミュニケーションスキルアップなどコツコツ進めているところです。</p> <p>コミュニケーションは社会性として必要ですが、いろんな子どもがいるので少しずつ繋がっていくことが大切だと思います。</p>
議長	<p>他にはございませんでしょうか。</p> <p>時間もまいりましたので、以上をもちまして、本日の協議会を閉会いたします。</p> <p>本日はどうもありがとうございました。</p>